



ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 2R4Z

2013-2014

西守

SAIJO LIONS CLUB

③

No. 441

Topics

花山し・・・オーストラリア旅行記・・・
～海外姉妹提携クラブ（国際交流の流れ）～
冬期 YCE 事業帰国報告
会員短信



2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会会長



パリー・J・バーマー

テーマ

夢を追いかけよう

2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー

松 前 龍 宗

スローガン

ときめく 明日へ WE SERVE

キーワード

「真価發揮」



2013-2014 年度 2R4Z 西条ライオンズクラブ会長

原 育 雄

スローガン

人と大地に優しく WE SERVE

YCE 冬期イタリア派遣事業 ~帰国報告会~

2013-2014 年度冬期 YCE 派遣事業も帰国報告会をもって全て終了いたしました。

YCE派遣先（イタリア）ホストLCよりの親書



To the Lions district governors

To the lions Youth Exchange Chairmen

Dear friends,

We wish to thank you and the " Lions Youth Exchange Program" of your country for participating in our District Service. We are also very grateful for putting your trust in us by sending your kids here in Sicily.

We believe very much in this wonderful Lions program which allows kids of many nationalities and religions to travel through different countries in order to enrich the human and social integration of young people and produce a deep and lasting bond of friendship and brotherhood between guest and host families. Every year Lions International Youth Exchange Program allows about 700 young people from all over the world to learn about Italy. Moreover, thanks to YEP, many boys and girls from Italy too can travel all around the world coming into contact with foreigner people and cultures not with a touristic approach but with a true and deep one. This allows them to penetrate the culture of the place also with the help of hosting families that generously open their homes welcoming kids from the YEP. That's why we Sicilian Lions work to promote these exchanges, thus giving the opportunity to our young people to leave for Lions camps overseas and willingly receiving here in our District 108 - YB as many guys as possible through our winter program. This is for us a big commitment and a big responsibility. However, our desire to contribute to cultural shaping of youths excites us and motivates us to continue, with growing determination, this wonderful work which will surely help to raise better men able to build a better world.

best regards

lion Gino Salemi, chairman Lions club Piazza Armerina

lion Aldo Cordaro, YEC district 108 Yb



香川県 セントカテリーナにて帰国報告会開催



2月第1例会の中で、イタリアでの楽しい思い出の写真と共に体験談を報告していただきました



・・・ クラブ国際交流関係 ・・・

Siddarth Munivelu の結婚式出席のため
1月17日成田発 午後7：50発でシドニーに出発。

二人で結婚式に出席するまでに至った事を少し話しておきましょう。

Presented By 花山志郎 & 花山育子

Our Wedding Ceremony

【Siddarth & Anuja に感謝】

オーストラリアにて挙式

～二人の結婚式に出席するまでの経緯～



1990年

元会員の野田益弘先生が、1989年インド・マドラスプーバイ LC の例会を訪問した事がきっかけで2月には、故 山崎常行会長はじめ7名で訪印しました。

1991年

マドラスプーバイ LC と姉妹提携をし、西条 LC 創立30周年には20名のメンバーに来西して頂きました。12月には西条 LC 単独YE事業として兄 Jai 君（当時高1）・弟 Siddarth 君（当時中1）兄弟が来西しました。この時に、我が家が兄弟のホストファミリーとなりました。

1992年

7月、西条 LC 単独YE事業として、中学生の佐伯光章君・花山葵君が「インド マドラスプーバイ LC」にホームステイとして、メンバーの一員であるムニベールさん宅にて、Jai と Siddarth 兄弟のお世話になりました。

2000年

3月、神野顕彰しを始めメンバー有志11名で訪印。ムニベールさん家族にも再会し、滞在中はお世話になりました。



2010年

1月中頃、18年ぶりにたどたどしい日本語で「お母さん、Siddaeth です。覚えてますか・・」「日本に行くので、お父さん・お母さんの所へ行って良いですか？」そんなやり取りがあり、2月24日に、彼は我が家にやって来ました。すっかり立派な青年になり、シドニーの大学を卒業後も滞在し、仕事をしていると話してくれました。数日我が家で過ごし、又の再会を約束して帰国しました。同年秋頃、連絡があり「12月に西条に行きます」との事。12月23日には我が家に息子が帰国した様な想いでもてなし、一緒に年末を迎えました。



2011年

お正月と一緒に迎え・・3日には又の再会を願い、帰国しました。
(この時の会話の中に、結婚式には連絡をするからシドニーまで必ず来て欲しいと話したと思います)

2012年

数ヶ月に一度のメールのやり取りが、それからはずっと続いています。

クラブ国際交流関係

2013年

可愛い彼女の写真がメールで送られてきた後、結婚相手だと Siddarth から聞き驚きました。10月頃に、私たち家族みんなで結婚式に来て欲しい、と打診がありましたが仕事の都合もあり、結婚式には二人で出席することを知らせました。12月には結婚式の招待状が届き、2011年に話した事が現実になり驚くやら、うれしいやら。。本当の息子の結婚式に出席する様な気持ちでいっぱいになりました。

こんな長い前置きで、二人で Siddarth の待つシドニーに出発する事になりました。今回の旅行は二人だけなので、留守番の家族達が心配する中、夫婦水いらずで手と手をつなぎ、成田空港から旅立ちました。

2014年1月18日（土）

（17日（金）松山空港12：10発 → 羽田空港 → 成田空港19：50発・・・シドニー到着）

約12時間のフライトでシドニー・キングスフォードスマス空港に、朝7：25に着きましたが、ゲートナンバーでアクシデント発生！！「8・エイト」のことをシドニーなりで「アイ」と発音するらしく、目的番号ゲートがどこを見てもない！？！？ 困ったぞ！と、もう一度聞いても「アイ」？通じないから相手も不振に思ったのか「8」を指さし、やっとのことでゲートナンバーがわかりました。苦労した末に出ると、笑顔で手を振りながら迎えに来ている Siddarth の姿を見てほっとしたのは言うまでもありません。

（シドニーは、英国の植民地でもあったので「エイト」の発音を「アイ」と発音するという独特な言い回しである事を本で読んでいたのを思い出し、後で大笑いしました）

メルキューシュドニーホテルに着き、少し休憩して、ホテルの近くを散策していると、最も古い歴史を持つマーケットを見つけたり、毎週末パティントン教会で開かれる手作り市にも行きました。アクセリー・雑貨・オーガニック・コスメと洗練された店が多く出店されていましたが、屋台グルメはどれも日本の倍近くの値段で、又量も多いので、仲良く半分ずつ食べる有り様（笑い）。

夜6：00にはインド・チェンナイから先に来ていたお母さん・Jai 君・従兄の6人で夕食をともにしました。



シドニーでのインド料理でしたが、とっても美味しく、お母さんと Jai 君がベジタリアンだったので、Siddarth はシドニーの生活が長くなつたせいか、ベジタリアン返上で「なんでも大丈夫 OK よ！だけど、さしみは NO！」とビールも美味しいように飲みほしていました。

兄の Jai 君とは14年ぶりでしたが、人なつっこい笑顔は全く変わらず、つい昨日も会っていたかの様なアットホームな雰囲気の中、みんなの再会で昔話に花が咲き、大変楽しい夕食でした。

1月19日（日）

結婚式は夕方5時からなので、時間を有効に使いたいと思い早起きして、持参した「シドニーウルル」とマップを片手に早速散策、英國入植時代の古い街並みを残し、歴史的な建造物が点在し、意外と坂道が多く道路沿いは緑も多くきれいな街です。歩く・歩く。まずはクイーンビクトリアビルディング（QVB）。ここは1898年頃の建築様式のマーケットとして建てられたそうですが、現在は160店以上が入店するエレガントなショッピング街。内装は大切に保存され、特に毎時に天井の仕掛け時計が作動する様子が素晴らしかったです。

その中の一店舗に原住民のアボリジニ独特な文化を伝えるアートギャラリーがあり二人とも魅せられ、迷いに迷い、「日本から来た！」と言ってちょっと値切ることに成功！お目当ての品を買いました。（笑）



ぶらぶらウィンドショッピングをして外へと。目指す所は「シドニータワー」、アイ市街を一望しましたが、天気が悪かったもののそれなりに素晴らしかったです。

この日はあまり日差しもきつくななく、歩いても少し汗ばむ程度でしたが、日本の様に自販機は全くなく、お茶を飲みたくて入ったカフェでは（当地の人は背が高い人が多く）なんと椅子の足が高過ぎて、登る様にして座らなくてはならず、背が低く短足の二人は、困りました。

歩く人を観察すると、ペットボトルを持ち歩いている人が多く、私達もコンビニで水・サンドイッチを買い、木陰でひと休みしながら食べ（こちらはこんな場所が多く、何も恥ずかしくなくひと休みできます。）ホテルまで歩いて帰りました。

大急ぎで着替え、4時には Siddarth が手配してくれたタクシーで結婚式場へ。
会場は旧海軍が使っていた海の見えるガーディンカフェ。

残念ながら曇っていて眺めは良くなかったです。

5時スタートのはずですが、なかなか始まりません！ あらら、なんと5時から準備、そして進行の打ち合わせ。

日本では考えられない光景でしたが、無事始まり、私達の席はなんとリザーブ

されていて、新郎の家族の一員として、席に招かれました。ヒンズー教にのっとった挙式で、二人はインドの民族衣装に身を包み、花嫁さんは赤のバージンロードを姉妹が花びらを撒く中、綺麗なピンクの花嫁衣装を身にまとい、お母さんに手を引かれ入場、新郎のもとへと。人前挙式の中、誓いの言葉では彼も今までの事が頭を巡ったのか、感無量で涙ぐむ場面もあり、お母さんや私達もつい涙ぐみました。実の息子の挙式の様な錯覚（？！）に陥り、感極まるシーンが何度もありました。



二人の兄弟がサインして「Siddarth・Munivelu & Anuja・Munivelu 夫妻の誕生」で記念写真も撮りいよいよパーティーです。地元ミュージックシャン達の演奏、ビール・ワインで乾杯（ビールが旨い！）

ダンス・インド民族曲の踊りで盛り上がり、24時によくホテルへと・・・

なんと、後組は朝の5時までしたそうです（インド現地では、長いと二日間ほど披露宴するそうです。印度式の結婚式は父親は控えめで、母親が花嫁と行動をともにしていました。）

1月20日（月）

早朝からあちらこちらと二人で観光し、お土産に頭を捻り、観光どころでなくなりました。（少し喧嘩したかな～）1時からは、シダルツが手配してくれた観光バスでジャイ君・従兄のプロラティプと4人で市内観光オペラハウス・ハーバーブリッジ・シドニー湾を巡り BOND ・ BEACH へ。

風が強く、目が開かない程砂を吹き上げ、大変でした。

7時には新婦のアヌジャの実家に招かれ、アヌジャ家族との食事で一緒にシダルズ家族も交え、楽しいひと時でした。お母さんは絵画の芸術家・心療内科の先生で、気さくなお母さんでした。お父さんは何をしている人なのか、聞くのを忘れました。



会話の中で感じたことは新郎・新婦の家族の垣根がなく、みんな気さくに仲良く家族として付き合っているようで、食事も気取らず手料理でのホームパーティーでした。

ハワイでホームパーティーに招かれた際にも友人達が手料理を持ち寄り、気取らず楽しい食事でしたがこれが本当の「お・も・て・な・し」かも知れません。日本人も少し見習うべきだと感じました。

その家族の仲間に私達も入れてもらい、とっても幸せな気持ちになりホテルへと帰りました。

クラブ国際交流関係

1月21日(火)

ホテルの中のコンビニで働いている人が日本人と知り、安心して話しができました。オペラハウスに行く無料バスを教えて頂き、早速バスでオペラハウへ。日本語館内ガイドツアーに案内して頂き、詳しく聞きました。

～～～以下、ガイドツアーの説明より・・・～～～

プロジェクト開始は1959年3月。なんと完成は1972年12月。女王エリザベス2世が、シドニーオペラハウスを開館する様子を見つめた際、女王はオペラハウスをエジプトのピラミッドに例えたが、こう付け加えた。「オペラハウスは、ピラミッドが決して持たなかったものを持つようになります、それは、生命です」と言ったそうです。

デンマークの建築家 ヨルン・ウツォンが設計したオペラハウスは14年の歳月をかけ、1973年に完成した。6つの劇場ほか、レストランや図書館・アートギャラリーなどが入った複合施設。

屋根のタイルは100万枚以上で2色のタイルで美しい光の反射を構成しています。

建物は二重構造で、外壁のあとに内部の建物が造られ、外側・内側の建物が接していない独特の構造になっていました。

時間があればモーツアルトの「フィガロの結婚」を、音響も良く聴きたかったのですが、残念ながら夜の予定があり、オペラハウスを後にしました。

7時には寿し処「鱈屋」でお別れ会。「やっぱり日本食はいいですねえ～！」にぎり寿司・野菜の天ぷら・枝豆・鶏のから揚げ・そしてキリンビールの旨いこと！店員の方はほとんど日本人。

もちろん日本語での会話に花が咲き、ワークホリディで一年間勉強に来ている人達で楽しく働いていました。ここでもiPhoneが大活躍しました。話は尽きませんでしたがSiddarthに送られホテルへ。

1月22日(水)

やっぱりもう一度オペラハウスで「フィガロの結婚」を聴きたくて、まっしぐらに行ったところ、残念ながら夜7時からということで、がっかり・・・。じゃあ、次の機会に！と話したもの、遠いし〇〇もいるしねえ～。でも又いつか聴きに来ることを約束？国立現代美術館にも足を運びつつ、又無料バスに乗り、ホテルへと帰りました。帰国する準備をしたところ、来た時よりも荷物が多い（笑）慌ててバックを一つ買いに行くありさまでしたが、なんとも楽しい5日間でした。

7時にはSiddarth・Anuja夫妻が空港まで送ってくれ、「今度は日本で会いましょう」と約束。夫妻とハグし合いながら、涙の別れ。10時20分発成田行きの飛行機に乗りシドニーを後にしました。

1月23日(木)

予定通り6時20分、無事に成田空港到着、羽田空港行きの飛行機の時間までたっぷりあったので、空港内をぶらぶら展望台へ・・・。なんと世界遺産の富士山がバッチリ見えましたが、30分もすると雲の中でした。羽田空港を出発、一路松山空港へ・・・。やっと帰ってきました。本当にお疲れ様。異国の人の結婚式は、二度とない経験となりました。

うまく英語が話せなくても、心がお互いに通じれば、長いつきあいの中から信頼関係が生まれ、言葉なんていらない！とは思いましたが、やっぱり英会話が出来たらいいなあ～、スピードラーニングで頑張ろう！スローラーニングにならない様にね！・・・本音は、なかなか上達しませんが（笑）。道中少し喧嘩もしましたが、体調も壊さず元気で帰ってきました。

今度はいつ会えるかを楽しみにして、細く長くSiddarth夫妻とインドにいるJai君交を交え、付き合って行くつもりです。

お母さん・Jai君達もインドへ帰国し、平穏な生活を送っていることと思います。

ちなみに、ハネムーンは「パリ」だそうです。今回、お招きいただいたこと、ありがとうございました。二人に末長い幸あります様に・・・。

最後に、こんな感動を頂いた西条ライオンズの仲間に感謝します。

【追伸】

SiddarthとAnujaから先日、メールがありました。

ハネムーンに行く途中に西条へ立ち寄り、4月19日から五日間の滞在で二人が来ます。タイ経由でハネムーン地パリに行く予定数ヶ月後に再会出来る事に感謝すると共に、家族みんなで再会を楽しみにしています。



加藤誠也

この度は、藍綬褒章受章の栄に浴しましたところ、多数の方々の真心からの祝賀会を催していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。私は、平成元年に保護司の委嘱を受けて25年間、不幸にして犯罪、非行を行った人々の更生保護のために無事故で尽力できましたことは、常に「ライオニズムの誓い」を肝に銘じ、行動し、又メンバーの方々の温かいご指導、ご支援の中で少なからずも人格を磨き、使命が全うできたと、感謝しております。本年1月9日で、78歳になりましたが、まだまだ老体にムチ打ち、精進し、元気でライオニズムに徹してがんばっていきたいと思います。今後共宜しくお願ひ申し上げます。



PR・広報委員会より

地区誌1・2・3(No.3)
にクラブ国際交流事業記
事が掲載されました。
ご一読ください。



西豪マイオニスクラブは最も高いアパレルリーフレントです。この友情はいつまでも忘れません。と心こもるエコノミーの感動的なご質疑でした。





会員短信

高木和幸

『 地域の子供たちと一緒に・・・ 』

こんにちは 会員短信の依頼を受けました。そこでこの機会に、皆さんにお誘いをさせて頂きます。皆さんのライオンズクラブ以外に他方面での活躍を良く見聞きします。私も断れないお誘いで、以前より神辺地区の健全育成のお手伝いをさせて頂いています。5月の子供の日の頃の「お餅つき」8月の「おたものさん」、12月の「しめ飾りつくり」、1月の「七草」などが主な事業なのですが参加者が100名を超える「お餅つき」や「しめ飾りつくり」は壮観です。

街の子を自負している神辺で、こんなイベントがあることをご存知でしたか？

子供たちが中心ではありますが、杵を初めて握る子や、お餅にあんこがなかなか収まらない姿等など。まして藁をなった事など、私でもお手伝いするまで経験がありませんでした。

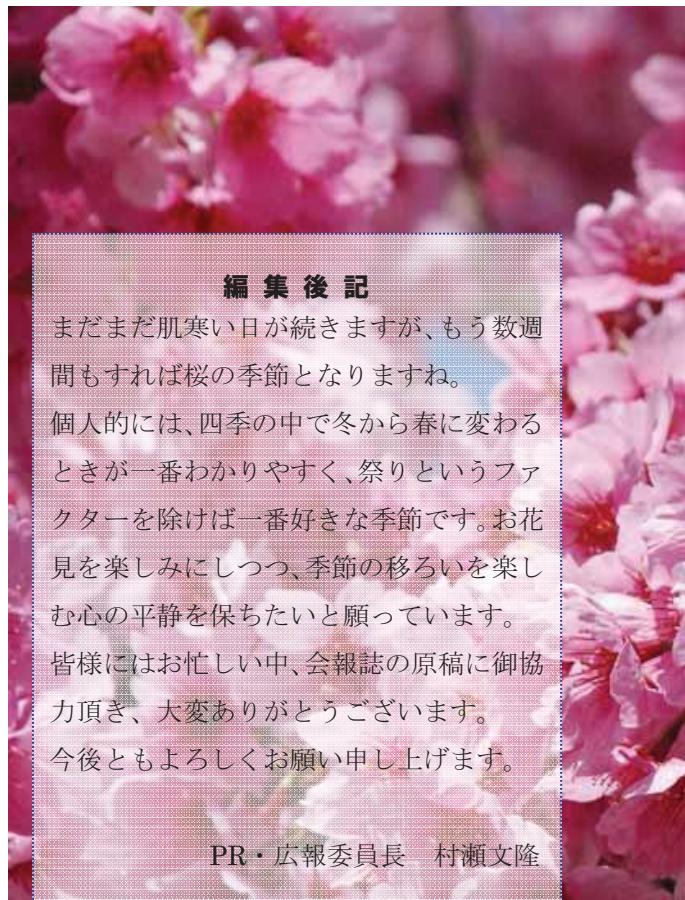
さて、ここで皆さんにお説明します。お子さんやお孫さんと一緒に参加されませんか？

今年のお餅つきは、4月27日（日）を予定しています。ライオンズクラブの餅つき奉仕の様に沢山の種類の餅はありませんが、将来愛媛を離れた時に出来るよう『みかん餅』についています。お手伝い頂ける方は私までお問い合わせください。お待ちしております。



発行者 会長 原 育雄
幹事 高橋雅顕
PR・広報委員長 村瀬文隆
編集委員 明比紳一郎・塩出正照・國田経仁・合田直司
野間賢次郎・伊藤隆治・伊藤 稔

例会日 每月 第2・第4火曜日 (12:30~13:30)
例会場 西条国際ホテル
発 行 西条ライオンズクラブ事務局
印 刷 プリントワールドONO



PR・広報委員長 村瀬文隆

西条ライオンズクラブ

〒793-0030 愛媛県西条市大町 771-1
西条国際ホテル1F
TEL(0897)56-3980
FAX(0897)56-9251
E-mail
ホムページ
saijo-lc@beam.ocn.ne.jp
<http://saijo-lions.org>